

平成30年度文化芸術振興事業（案）

古賀市の個性を起こす

今ある宝を再認識する

短期	<ul style="list-style-type: none"> <li>●歴史資料館などの文化施設を活用した学習の機会を設けます。</li> <li>●文化芸術活動団体の活動紹介や歴史的な文化財などを市内外にインターネット、新聞、広報など様々なメディアを使いアピールします。</li> </ul>			
長期	<ul style="list-style-type: none"> <li>●近隣都市との広域的な文化施設の連携を図り、情報交換の場を設けます。</li> <li>●文化芸術活動を行う個人や団体を、行政が行う事業に積極的に活用します。</li> </ul>			
事業名	概要	目的	方向性	
文化交流 事業事務	(1)糟屋地区美術展	糟屋郡の1市7町と福津市、宗像市の持ち回りで、毎年開催されている美術展。毎年古賀市から30点～40点の出品をしており、作品は広報を通して公募している。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・近隣市町村との交流を図り、情報収集や意見交流を行うことで、新たな文化芸術の視点を取り入れる。</li> <li>・近隣市町村と共同で行うことで広域的なネットワークづくりを行う。</li> <li>・古賀市の誇れる文化芸術資源を市内外に積極的に発信する。</li> </ul>	継続
	(2)福岡1ブロック 芸術文化のつどい	糟屋郡の1市7町、福津市、宗像市の持ち回りで、毎年開催されている芸能部門の発表会。毎年古賀市からは3団体(10人～20人)程度が出演する。		
公共施設 美術品展示	(3)一展美術館	糟屋美術展、MOA古賀市児童作品展、古賀市こども美術展等、近隣で開催された美術展で受賞した古賀市民の作品を、古賀市役所の市民ホールで展示。基本的に1ヶ月ごとに作品を入れ替える。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公共施設に絵画等の展示を行い、潤いのある空間を演出し、文化芸術振興を図る。</li> <li>・文化芸術資源の活用をし、魅力を広く伝えられるよう積極的に発信する。</li> </ul>	継続
文化芸術 振興事業	(4)芸術祭	市内の文化芸術活動団体で、師範・師匠クラスの活動発表の場として、展示5日間、舞台発表1日実施。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市で行われているグレードの高い舞台芸能、芸術作品の発表・鑑賞の機会を提供し、歴史深い芸能文化や文化芸術への興味関心を深める。</li> <li>・伝統的な芸能・芸術の技能、能力、知識を、発信、伝承、還元するための機会の充実を図る。</li> </ul>	検討
	(5)文化祭	市内で活動する文化芸術団体の発表会として、展示を5日間、舞台演技披露を3日間実施。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市で文化芸術活動をおこなう個人や団体を積極的に活用し、地域に根付く多彩な文化芸術の魅力を発表・鑑賞・体験する機会を提供する。</li> <li>・発表する機会を提供し、日々の活動を促すことで、文化芸術の根付きを促進する。</li> </ul>	検討
	(6)コンサート	サロンコンサートとランチタイムコンサートとして、お昼時に気軽にリラックスしながら聴け、参加者同士が交流できるコンサートを開催。文化協会会員及び公募により出演者を決定する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市の文化芸術環境について市民が語り合える場を設け、文化芸術環境の向上を図る。</li> <li>・生の演奏を気軽に、定期的に、身近で発表・鑑賞する機会を提供することで音楽に対する興味関心を高める。</li> </ul>	継続
	(7)童謡まつり	公募により、エントリーした各団体が童謡の演奏・歌を披露するほか、みんなで歌おうコーナー、独唱コンクール等を実施。なお、当日のステージのバックボードは古賀竟成館高等学校の美術部が作成。独唱コンクールにおいては、こども美術展と合同で表彰式を実施。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・出演者を公募し、受け継がれてきた童謡の魅力を幅広く継承する機会を提供する。</li> <li>・子どもたちに童謡を発表・鑑賞する機会を提供し、童謡の魅力を次世代へ引き継ぐ。</li> </ul>	継続

平成30年度文化芸術振興事業（案）

古賀市の個性を起こす

今ある宝を再認識する

短期

- 歴史資料館などの文化施設を活用した学習の機会を設けます。
- 文化芸術活動団体の活動紹介や歴史的な文化財などを市内外にインターネット、新聞、広報など様々なメディアを使いアピールします。

長期

- 近隣都市との広域的な文化施設の連携を図り、情報交換の場を設けます。
- 文化芸術活動を行う個人や団体を、行政が行う事業に積極的に活用します。

事業名	概要	目的	方向性	
歴史資料館事業	(8)企画展	平成29年度は故石井氏の漂流物紹介、古賀市の海に係る歴史紹介、現在の海を守る活動の紹介、小中学生の海の写真コンテスト、講演会、工作イベントを実施。	市民が歴史、民族、博物及び考古について学ぶ機会を提供する。	継続
	(9)自然史・歴史講座	平成29年度は、九州歴史資料館において船原古墳の最新情報の講演と資料館の見学、講演会「戦国時代の薦野氏と米多比氏」の実施、子ども歴史講座「船原古墳と馬具のヒミツ」を全3回実施、船原古墳に関する説明と石膏による杏葉工作の実施、現地学習としてバスで秋月へ行き「歴史ウォーク in 秋月」を実施、「船原古墳と福津市・宗像市の古墳探訪」としてバスで現地へ行き、歴史を学んだ。	市民が歴史及び自然について学ぶ機会を提供する。	継続
	(10)ミニパネル展	船原研究の最新情報をパネルにして展示。	パネル展示により、市民に歴史、民族、博物及び考古について情報を提供する。	継続
	(11)歴史資料館体験パスポート	平成29年度は、歴史に係る10個の体験メニューを用意。（歴史クイズ、実物の石器や土器に触れる、郷土カルタ等）体験を行う毎にパスポート台紙にシールを貼り、定期的に景品を渡す。全て達成するとお楽しみ工作が出来る。	学校の長期休暇期間に実施。子どもが楽しみながら歴史等に触れる機会を提供する。	継続
	(12)ナイトミュージアム	平成29年度は図書館と歴史資料館において、それぞれ用意した課題（ミニゲーム）をグループのメンバーで協力して解きながら館内を巡る。	子どもに歴史資料館及び図書館について学んでもらう。	継続
	(13)子ども考古学部	平成29年度は全4回実施。毎回歴史講座と併せて、貫頭衣作成、土器作成、船原見学及び古代クッキングを予定。	市内小学生を対象に、古代の人々の知恵や古賀市の歴史について、体験を通じて学ぶ機会を提供する。	継続

平成30年度文化芸術振興事業（案）

古賀市の個性を起こす

眠った宝を起こす

短期	<ul style="list-style-type: none"> <li>●子どもたちが見つけた地域の魅力を、市内外に発信していきます。</li> <li>●中学校美術や古賀竟成館高等学校ベーシックデザインコースとの連携を図り、まちづくりにいかします。</li> </ul>			
長期	<ul style="list-style-type: none"> <li>●近隣都市圏の文化芸術活動を調査研究し、新たな視点で事業を再生します。</li> <li>●地域での文化芸術活動の活性化を目指し、公民館や新たな活動場所を開拓します。</li> </ul>			
	事業名	概要	目的	方向性
文化芸術振興事業	(14)こども美術展	市内小中学校の子どもたちの絵画と書を募集し、審査後、5日間展示及び最終日には表彰をする。子どもの視点を取り入れるため、子どもが作品を選ぶ「こども大賞」を実施。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校と連携を図り、子どもたちが文化芸術にふれる機会と、子どもの作品にふれる機会を提供する。</li> <li>・子どもの文化芸術に対する感性を育み、子どもの視点を取り入れた文化芸術振興を図る。</li> </ul>	検討
公共施設美術品展示：(3)一展美術館			記載場所：環境づくり	

古賀市の新しい魅力を興す

人にやさしいまちづくり

短期	<ul style="list-style-type: none"> <li>●アート・バス、子どもアート教室など、子どもが文化芸術に親しむ機会を学校と連携を図り、提供します。</li> <li>●生涯学習センターに授乳室、エレベーター、スロープなどを設置し、様々な人が使いやすい施設にします。</li> </ul>			
長期	<ul style="list-style-type: none"> <li>●児童館や図書館など、子どもが幼児期から文化芸術に触れる場所を提供します。</li> <li>●文化芸術活動に託児サービスの提供を推進します。</li> <li>●子育て世代、シニア世代、障がい者、外国人などが活躍できる、文化芸術の学びの場を提供します。</li> </ul>			
	事業名	概要	目的	方向性
人材育成事業	(15)アート・バス	古賀市内の4歳児～5歳児とその保護者、小中学生（参加希望者）をバスに乗せて、近隣の美術館に連れて行く。ボランティアの募集も兼ねた大人を対象としたものも実施。年間5回程度。なお、学生ボランティアは、九州産業大学、福岡教育大学の学生と連携している。	小中学生を対象に、本物の文化芸術の鑑賞や学芸員等専門家、アーティストとの交流を通し、文化芸術の担い手の育成に寄与する。	継続

ざわめきづくり

短期	<ul style="list-style-type: none"> <li>●「まつり古賀」や「食の祭典」などの観光・産業の振興を、文化芸術活動で支援します。</li> <li>●古賀市の歴史的な文化財や景観を、観光や産業にいかします。</li> </ul>		
長期	<ul style="list-style-type: none"> <li>●他部局との事業連携を図り、情報を共有し、新しい発想の事業を検討します。</li> <li>●文化の仕掛人やコーディネーターを育成します。</li> </ul>		
人材育成事業：(16)レッツトライ！プロジェクト			記載場所：環境づくり

平成30年度文化芸術振興事業（案）

環境づくり

短期	<ul style="list-style-type: none"> <li>●公募型補助金の募集をいかし、文化芸術活動団体の活性化を図ります。</li> <li>●生涯学習センターの整備を行います。</li> <li>●古賀市文化芸術振興アクションプランを全戸配布し、啓発を行います。</li> </ul>		
長期	<ul style="list-style-type: none"> <li>●文化芸術に関する情報の収集・提供を一元化するなどの、センター的機能を担う拠点の整備を行います。</li> <li>●地域に文化芸術活動を推進する人材を育成します。</li> <li>●文化芸術に関するネットワークづくりを行います。</li> <li>●本計画をさまざまな機会に啓発を行い、文化芸術に関する意識啓発を行います。</li> <li>●文化財の保存、継承、整備を行います。</li> </ul>		
事業名	概要	目的	方向性
人材育成事業	(16)レッツトライ！プロジェクト コーディネーターとして坂崎隆一氏に依頼。文化芸術に携わる団体や個人をつなぎ、事業運営の手法、地域や企業とのつながる手法等を講座を通して学んでもらう。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文化振興を担う人材の支援として、既存の団体の活性化と新しい団体の創生を支援する。</li> <li>・人材育成講座を実施し、講座を通して学んだことをいかして、リーダー的な役割として地域の文化芸術振興を担ってもらう人材を育成する。</li> <li>・古賀市において活動する団体の交流を行い、お互いに認め合い、高めあえるよう、団体間のネットワークを広げる。</li> </ul>	継続
	(17)文化芸術振興計画管理事務 文化芸術審議会を運営するための事務を行う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文化芸術振興計画を様々な機会に啓発を行い、文化芸術に関する意識啓発を行う。</li> <li>・古賀市文化芸術振興条例に基づき、文化芸術審議会を設置し、古賀市文化芸術振興計画の進捗管理を行い、古賀市の文化芸術振興を図る。</li> </ul>	拡大

誇りをおこす

短期	<ul style="list-style-type: none"> <li>●文化芸術活動を通して、古賀市の個性を起こし、魅力を興して、豊かで誇れるまちづくりを推進します。</li> <li>●誇り高い豊かな古賀市を次世代に引き継ぎます。</li> </ul>		
事業名	概要	目的	方向性
文化芸術事業補助金	(18)古賀市民音楽祭 市民が一流の音楽にふれる機会を増やすことを目的とし、安価でプロの演奏を鑑賞できるコンサートとなっている。さらに、古賀市民には割引制度を設けている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・古賀市の文化芸術振興に寄与し、クオリティ・公益性の高い企画・運営を行う団体を支援する。</li> <li>・市民とプロが交流する機会を設け、文化芸術活動の活性化を図る。</li> </ul>	検討
文化芸術振興事業：(4)文化祭		記載場所：古賀市の個性を起こすー今ある宝を再認識する	
文化芸術振興事業：(5)芸術祭		記載場所：古賀市の個性を起こすー今ある宝を再認識する	
文化芸術振興事業：(6)コンサート		記載場所：古賀市の個性を起こすー今ある宝を再認識する	
文化芸術振興事業：(7)童謡まつり		記載場所：古賀市の個性を起こすー今ある宝を再認識する	